

# 松井望 研究室

(行政学・都市行政論)

電子メール：matsui-nozomi●tmu.ac.jp

(●は@)

研究室：2号館104号室

# 1. 本研究室のアプローチ：行政学による行政研究

- 行政はわたしたちの生活に広く深く根ざしています。でも、その根が広く深すぎるので、実はよく見えません。よく見えない行政を見るためには工夫が必要です。たとえば、あらゆる学問が相互に補いながら、行政を研究してきました。その中の一つが行政学です。
- 行政学による行政研究の特徴を一言でいえば、行政がもつ権力と技術を観察することです。放縦しがちな権力と独善的になりやすい技術をいかに規律づけ、管理するかを考えています。行政学は、行政の実際を醒めた目で観察し、身も蓋もなく知ることには長けています。行政がどのようなメカニズムで動いているのかを知ることが、職業人としての公務員に限らず、日々生活をするわたしたち一人ひとりにとって意義があると思います。
- 本研究室は、研究テーマ、研究対象、研究手法は各自の自由です。自治体を中心とした行政の実際に関心がある方、一つのテーマと対象を深く考え、じっくりと徹底的に調べあげながら論文としてまとめてみたい方と一緒に研究ができれば幸いです。

## 2. 本研究室の基本方針

- ①個人研究を基本とします。各自が「おもしろい」と思うテーマ・対象を深く・徹底的に研究してもらいます。松井の研究関心や研究対象、現在進行中の松井の研究（以下の「3」を参照）とはまったく関係がなくて結構です。むしろ、松井が知らないこと、これまで研究をしていないことをみなさんで研究してください。ただし、（自治体）行政の現場に根ざした研究（問い）であることにこだわります。
- ②個人研究では、まずは行政学、地方自治論、公共政策論のいずれかの分野の理論的な議論を学びます。ついで、制度と実際の把握をすすめ、既存の理論と研究結果を疑いながら、各自が実証的な研究をすすめます。そして、これまでの研究に新しい1ページを追加する気概をもちながら論文にまとめていきましょう。
- ③個人研究の報告と議論に基づく研究会を開催します（全員参加、概ね週1回）。他の人の個人研究を研究室全員の議論を通じて洗練していきます。研究会では、文献・資料の会読、共同研究、本学・他大学の研究室・演習との交流（現地調査、合同ゼミ等）も、みなさんの意思と意欲に基づき適宜実施します。各自の研究にフィードバックをしてください。

### 3. 教員の専門分野・現在進行中の主な研究・これまでの研究成果

#### 専門分野等

- 専門分野：行政学、都市行政論
- 研究テーマ：自治体の行政組織内・外の調整 (coordination)
- 主な研究対象：自治制度の設計と運用、自治体の企画（計画）管理、人事・組織・予算等の内部管理、公民連携手法、行財政改革手法等

#### 現在進行中の主な研究

- 管理関連
  - ①東京都（都道府県）における女性職員の人事管理に関する研究
  - ②専門職員の人事管理に関する研究
  - ③震災復旧・復興における応援職員の人事管理に関する研究
- 制度関連
  - ①都区・区間の協議調整メカニズムに関する研究
  - ②限界集落における農村自治に関する研究
  - ③中央・地方政府間の行政手続上の行政負担に関する研究
- 政策関連
  - ①児童福祉行政に関する制度設計と実施に関する研究（特別区における児童相談所設置）

比較的、手に取りやすい研究成果は以下の文献をご覧ください



これまでに公刊した成果の一覧は、個人サイトまたはresearchmapをご覧ください。

- 個人サイト <https://sites.google.com/site/nozomimatsui/>
- researchmap <https://researchmap.jp/nozomimatsui>